

**二本松市議会・市政会会報**  
**第19号**  
 2020年4月  
 発行者 **市政会**  
 〒964-8601 二本松市金色403-1  
 責任者 **熊田義春**

令和二年三月定例会は、去る二月二十六日に招集され二十二日間の会期を経て、三月十八日に閉会しました。  
 今定例会は、令和二年度予算を予算審査特別委員会を設置して全体で総括審査を行い、また、三つの分科会を設置し、各常任委員会の所管事項を分担し詳細審査を行いました。  
 市政会は会派代表質問、一般質問に三名全員が取り組みました。



**市政会代表質問**  
 会長 **安齋政保**

- 三月定例会、会派代表質問を行うにあたり、私達市政会は勉強会をかさね、以下四項目を重点課題として選定し、会長、安齋政保が代表して市当局の考え、市政の進捗状況を質しました。
- 一、二本松農業未来戦略会議について
    - ①何回開催されたのか。
    - ②市長が考える市の農業政策、未来の方向性と戦略会議の意義は。
    - ③水道事業について
      - ①上水道第六次計画の進捗状況と完了年度に変更はあるのか。
      - ②上水道未普及地域解消の政策は。
    - ④災害時の避難所環境について
      - ①今回の台風十九号による避難所の環境を検証された中で改善すべき点は。
      - ②ため池除染について
        - ①仮置きせず直接積込場へ運ぶ方法が良いのでは。

- 当局答弁
- 一、①当初、年度内四回の開催予定だったが、令和二年一月二十二日に第一回目の会議を開催した。今年度内に二回目を開催する予定。
  - ②本市の持続可能な農業の振興と豊かな地域発展。提言については、本市の新総合計画の中に可能な限り反映したいと考えている。
  - 二、①令和六年度完了予定。
  - ②現計画の中での変更で対応できるか、新たな計画の中で対応して行くか、現在調整中であり、井戸水の水質や水量の関係から早急に安全で安定した水道水に切り替えが必要な地区から取り組む必要があると考えている。
  - 三、①最低限必要なライバシーの確保、授乳スペースの確保、車椅子利用者に対応した施設、ベットの確保など。
  - 四、①今後も国、県に対し早期の積込場への搬出を要望して行く。

産業建設常任委員長  
 TEL五二一七〇四(FAX兼)



**信念を貫く**  
つらぬ

三月定例会での一般質問

問 阿武隈川沿いの内水対策、排水処理ポンプ設置について

答 ポンプ設置については浸水被害を受けた区域における床上浸水家屋数が五〇戸以上、または浸水家屋数が二〇〇戸以上という同様の基準があることから補助金を活用した導入は難しい。また、固定型の排水ポンプを整備するに当たっては、設置工事に併せて堤防天端の嵩上げ工事や、堤防として必要な強度を保持するための工事が必要になることも大きな課題になると考えるが、内水被害については全国的に発生している問題であることから、今後さらに国、県関係機関に強く要請していく。  
 ※ 市独自では実現困難な課題であるため、国、県等への市当局の強い働きかけを今後も求め

副会長 **小野利美**  
 てまいります。

問 産科医師確保対策での現在の活動状況と見通しは

答 全国の国立・私立医科大学等に、本市の各種制度の周知・PRを行っている。現時点において就学資金貸与の申請が一名あり貸与を開始した。  
 見通しについては、就学資金貸与への申請は今後も期待できると考えている。また現役医師の確保については全国的な産科医師等の不足が続いており、さらなる努力が必要であると考

文教福祉常任委員長  
 安達地方広域行政組合議会議員  
 TEL三三二七〇二 FAX三三一三三三



**諸問題の解決に向かって**

幹事長 **熊田義春**

令和元年十二月定例会で三件、今年度三月定例会で三件の一般質問をさせて頂きましたが二件を掲載させて頂きます。

が五、六二八人で十六・七％の増。すべての交通機関の乗車人数が増加している。

一、公共交通運賃無料化事業（各交通機関の利用者数は）  
 答、平成三〇年度と令和元年四月から十月までの総乗車人数で比較。福島交通の路線バスは一六六、八七三人が元年一六九、〇六六人で一・三％増、協和交通の路線（岳く大玉間）バスは、四九三人が七九五人で 六一・三％増、コミュニティバスは、六、三〇六人が六、七三五人で六・八％増、デマンドタクシーは、二、九七九人が四、一七五人で四〇・一％増、ようたすカーは、四、八二二人

議会運営委員長  
 総務市民常任委員  
 TEL三三一〇五(FAX兼)

**◆議会報告会(第4回)の開催が延期されました!!**

二本松市議会（本多勝実議長）では今年5月に第4回の議会報告会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、開催を延期することとしました。

新たな日程は、議会日より等において皆様にお知らせされます。  
 別表に開催される際の会場・出席議員の一覧を掲載いたしましたのでご覧ください。

【お問い合わせ先】 二本松市議会事務局 電話55-5144（直通）  
 ※議会報告会の時間は、概ね1時間30分を予定しております。  
 ※出席議員名 ◎：班長 ○：副班長  
 ※お住まいの地域以外の会場でも参加できます。

日程	対象地域	会場	出席議員(担当班)
	二本松地域 (二本松・塩沢地区)	二本松住民センター 3階第3会議室	◎安齋政保 ○加藤建也 佐久間好夫・鈴木一弘・堀籠新一・小林均・平栗征雄
	岩代地域	旭住民センター 2階大ホール	◎本多俊昭 ○佐藤運喜 齋藤徹・熊田義春・平塚與志一・齋藤広二・佐藤源市
	安達地域	上川崎住民センター 1階ホール	◎小野利美 ○石井馨 坂本和広・佐藤有・菅野明・平敏子・野地久夫
	二本松地域 (岳下・杉田地区)	岳下住民センター 2階研修展示室	◎本多俊昭 ○佐藤運喜 齋藤徹・熊田義春・平塚與志一・齋藤広二・佐藤源市
	二本松地域 (石井・大平地区)	石井住民センター 2階会議室	◎安齋政保 ○加藤建也 佐久間好夫・鈴木一弘・堀籠新一・小林均・平栗征雄
	東和地域	東和文化センター 2階研修室	◎小野利美 ○石井馨 坂本和広・佐藤有・菅野明・平敏子・野地久夫

# 市政会活動報告

市政会では、去る二月十日に教育関係で授業参観、二月十三日に建設関係で土木、水道の災害復旧についての勉強会を開催しました。この勉強会の成果を今後の会派活動に活かしてまいります。

## 教育問題 勉強会(市政会)

### 一、外国語活動講師派遣事業について

教育委員会の方々同伴のもと岩代地域新殿小学校の授業参観を行いました。

○まずは、新殿小学校の先生方にお世話になり五・六年生の英語授業参観させて頂きました。

○外国人講師を派遣して学級担任とのチームティーチングにより指導の充実を図り、児童の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るもので、児童が生の言語にふれあい思考力や判断力、表現力などを育む上で貴重な経験ができると思われました。

○新年度から小学校五・六年生の外国語活動が教科化され、年間これまでの五十時間から二十時間増え七十時間となり、外国語科となります。

○小学校三・四年生はこれまで十五時間授業時数が二十時間増え、年間三十五時間外国語科となることが説明されました。



新殿小外国語授業

### 二、電子黒板を活用した授業について

○同地域旭小学校で六年生の社会授業を授業参観形式で体験させて頂きました。

○今年度は、小学校五・六年生の教室と中学校三年生の教室に設置し、これまでに整備を進めてきたデジタル教科書などのソフトを活用し、授業の充実を図ることを狙っています。児童生徒からは「デジタル教科書を使った授業はわかりやすく楽しい」との声が聞かれ、教員からは「児童生徒の興味・関心を高めるのに有効的に使うことができ、よりわかりやすく具体的な説明が可能になった」との好評価でした。

○社会と算数の授業に使用で週三回から四回活用しています。

○次年度にはICTスキル研修を年間計画に位置づけるとともに新たに小学校四年生と中学校一・二年生の教室に電子黒板を設置する計画で、国が進めるGIGAスクール構想と連動したICT環境の整備に努めていくそうです。

○今後の課題として、電子黒板の活用方法や内容について、具体的に情報交換をしたり、より有効な活用について研修を行なう必要がある旨の説明がありました。



旭小電子黒板活用授業

## 建設&進捗状況

### 土木・水道災害復旧の進捗状況について (台風十九号)

標題についての勉強会は市役所本庁舎において開催し、当局からは所管部署である建設部(部長・土木課長・上下水道課長)の出席をいただきました。席上、当局からは被害状況(復旧箇所)が別表のとおり示され、現時点での復旧状況と今後の見通し等について説明がありました。

土木被害復旧については、令和二年三月末で単独復旧が四百五十件完了し、残りは令和二年度に実施予定であること、公共災害六十九件は国の査定が終了し、総額約十八億円の復旧事業が決定されたことが説明されました。

水道施設復旧については、単独復旧四件分の予算措置は一月臨時議会で議決をいただいたが、公共災害分の国の査定が四月以降になることから日程等の詳細は未定である旨が説明されました。

災害復旧の早期実現に向け鋭意努力されている市当局の取り組みを勉強することができました。

一方、福島県が所管する河川・国県道の復旧も大きな課題です。市当局を通じて早期復旧を働きかけてまいります。



建設部の皆さんに出席いただきました

### 台風19号による土木・水道被害状況一覧(地区別)

地区	被害		水道施設		計
	土木(市道・河川等)		単独	公共	
二本松	97	7			104
安達	134	2			136
岩代	472	41	4	6	523
東和	348	19		3	370
計	1,051	69	4	9	1,133

**市政会はこう考えます**

■待機児童解消に更なる取り組みを!!

本年三月一日現在で保育所(認定こども園を含む)入所待機児童数は八十五人となっており、そのうち〇才児が五十一人、一才児が二十二人、合わせて七十三人、全待機児童数の八十六パーセントを占めています。

一方で市内の公立幼稚園は、園児数の減少により全九園中二園が四月から休園しています。

核家族化の進行や共稼ぎ世帯の増加(共稼ぎ希望世帯も含む)に伴い、保育を必要とするこどもの増加が背景にあり、「ママになるならにほんまつ」を呼びかけている当市において「待機児童解消」は急務の課題です。

市議会は本年度予算で民間こども園建設に対して二億六千万円の補助を議決しましたが、さらに公立の保育所(認定こども園)での受け入れ拡大に努める必要があります。施設拡充の必要性がどの程度あるのか、保育士の方々の確保するための施策は整えられているのか、これらの条件を満たすための予算措置をどうしていくのか等について調査・提案活動に取り組んでまいります。

**二本松市議会・市政会会報**  
**市 政**  
 第20号  
 2020年11月  
 発行者  
**市 政 会**  
 〒964-8601 二本松市金色403-1  
 責任者 熊田義春

令和二年七月より所属委員会が変更されました。  
 会長安齋政保が総務市民常任委員会、副会長小野利美が産業建設常任委員会（委員長）、幹事長熊田義春が文教福祉常任委員会、議会運営委員会（委員長）の所属になりました。  
 九月定例会は、去る九月一日に招集され、十七日間の会期を経て九月十七日に閉会しました。

今定例会は、一般質問、委員会審査に加え決算審査特別委員会を設置して審査しました。一般質問については、私たち市政会は「全ての定例会で全員が一般（代表）質問を行う」ということとしてきましたが、コロナ禍の中、六月・九月定例会はいずれも各会派二名に制限して行われました。



ゆるぎない決意  
 会長 安齋政保

九月定例会、一般質問は大項目、三項目について質問しました。

- 一、本市の教育について
- ① コロナウイルス感染症による学習の遅れは。
  - ② 夏休みが終わった時点でどの程度まで遅れを取り戻せたのか。
  - ③ 熱中症対策で集団下校させる基準は。
- 当局答弁
- ① 六月末の調査で、各学校とも主要教科については、数時間から多くて十時間程度遅れが見られる。
  - ② 他の市町村と比べると遅れを取り戻している状態であり、一学期の学習内容は、ほぼ定着することができた。
  - ③ 教育委員会としては、環境省、熱中症予防情報サイトに示される暑さ指数（WBGT）の値を基準にしておりこの指数が三十一を超え、危険域が想定される場合各校長に対して熱中症予防の注意喚起を行う

- 二、災害時、すぐに役立つ対策について
- ① 水害、洪水に対応出来るハザードマップ作成は。（移川、口太川）
- 当局答弁
- ① 市独自の取り組みとして、昨年台風十九号による浸水、出水域に関する検証を行い、それらを反映させた地域ごとのハザードマップの作成に向けて作業を進めている。

- 三、一般市道の安全対策と修繕について
- ① 西舟山線、中洞線大規模災害修繕の考え方は。
  - ② 赤坂山、田尻線の危険箇所、標識の見直しの対応は。
- 当局答弁
- ① 円弧すべりの発生が考えられるので、今後、復旧工法を十分検討しながら、公共土木施設災害復旧事業として提案する。
  - ② 制限速度の遵守を促す看板、路面標示等状況を確認しながら研究して行く。

総務市民常任委員  
 Tel 五二二七〇四（FAX兼）



信念を貫く

副会長 小野利美

九月定例会の一般質問での二項目を掲載させていただきます。

- 一、上水道未普及地域における計画について
- 問、第六次計画の終了時期と第七次計画の策定概要は
- 答、井戸水の安全性の問題がある地区や、生活用水確保に困窮している地区などに早期に水道水を供給するため、新たな計画（第七次計画）を策定し、事業認可を受けた後、事業実施する方針で検討を進めている。

拡張エリアについては、井戸水の水質の安全性に問題のある下川崎地区や、生活用水確保に困窮している石井・大平地区などを中心にまた、隣接する地区などを検討している。

産業建設常任委員長  
 安達地方広域行政組合議会議員  
 Tel 三二七〇二二 Fax 三二一三三三三

諸問題の解決に向かって

幹事長 熊田義春

令和二年度、市議会六月定例会において三件一般質問をさせて頂きました。

- 以下に質問項目と答弁内容を掲載させていただきます。
- 一、生活保護受給者の進捗状況について
- 問、平成二十四年度・二十五年度・令和元年度・二年度、現在の受給者と世帯数について
- 答、比較しやすいよう各年度六月一日現在の数値で、受給者数は平成二十四年度・四百三十三人、二十五年度・四百二十人、令和元年度・四百十八人、二年度・四百二十人で、世帯数については、平成二十四年度・三百七世帯、二十五年度・二百九十八世帯、令和元年度・三百二十一世帯、二年度・三百二十二世帯である。

- 二、一人親家庭への支援状況について
- 問、母子家庭と父子家庭の割合は。
- 答、児童扶養手当受給者の令和元年度、二年度当初の数値は、令和元年度は母子家庭九十三・八％、父子家庭六・二％、二年度は母

子家庭九十三・四％、父子家庭六・六％である。

三、教育支援センターの職員構成と予算について

問、スクールソーシャルワーカーの他に、所長一名、適応指導教室で児童生徒に学習支援にあたっている教育指導員二名、年間三十五日勤務のスクールカウンセラーが一名。今年度の予算については、管理運営費として総額九百十三万九千円である。

※私見として、私たち市政会はこれまでに二回教育支援センターに向いての勉強会を行ってきました。

センター開所時から現在まで態勢の充実に取り組んでいることが示されました。一方でスクールカウンセラーの勤務日数増加に向けた取り組みを求めていく必要があると感じました。

議会運営委員長  
 文教福祉常任委員  
 Tel 三二一〇五二（FAX兼）

◆市議会災害対策会議での取り組み

二本松市議会、コロナウイルス感染拡大防止対策について、二本松市災害対策本部（本部長三保恵一市長）に対して要望・提言を行うため、本年4月14日に「二本松市議会災害対策」会議（以下「災害対策会議」）を設置しました。

災害対策会議は4月30日に1回目の緊急要望書を5月15日に2回目の要望書を市の災害対策本部に提出し、5月25日には同対策本部から要望に対する対応状況について報告を受けました。

10月1日に3回目の会議を開き中間総括を行ったところです。

災害対策会議での要望事項については、議会内各会派においてそれぞれ検討し、全体会で整理・とりまとめを行いました。

以下に各会派から出された要望の主なものを掲載します。

・PCR検査は市民全員が受けられるような体制作り
・PCR検査の無料化
・高齢者へのインフルエンザワクチン接種の無料化
・医療機関への支援
・医療機関崩壊防止対策
・医療従事者に対する補助
・発信できる情報のすみやかな提供
・経営支援金の再支給と条件の緩和
・飲食業者等のテイクアウト・デリバリーに対する支援など

# 市政会活動報告

## 商工業関係

当会派市政会の勉強会は市商工会議所に  
 おいて開催し、渡辺専務理事、松本事務局  
 長、市産業部伊藤商工課長の出席をいただ  
 き、新型コロナウイルス感染症に伴う会員  
 事業所への影響と国の支援制度の活用状況  
 及び事業別の申請状況等並びに行政に求め  
 る支援策等についてお伺い致しました。

会員事業所への影響についての調査の結  
 果については、とうほう地域総合研究所の  
 「県内景気動向調査」によれば、全産業で  
 悪い影響を受けており、長期的な景気低迷  
 の予測をしている。また、国の支援制度活  
 動状況等については融資、持続化給付金、  
 その他給付金等の申請手続きの相談が多く  
 あった。(別表1)

行政に求める支援策については、雇用調  
 整助成金の拡充、納税猶予・減免・休業補  
 償など企業持続に係る要望案件がほとんど  
 であったとの説明がありました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として  
 は、商工会議所が取り組んだ十二項目の事  
 業について、市の市民生活・地域経済の活  
 性化を図る支援事業としては令和二年度二  
 本松市新型コロナウイルス感染症緊急産業  
 経済対策について説明がありました。

新型コロナウイルスによる影響により、  
 市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼし  
 ており未だ収束の兆しが見えない状況では  
 ありますが、各種支援事業も速やかに取り  
 組まれており、その成果を検証してまいり  
 ます。

市政会では、去る十月八日に市内(安達管内)における商工業  
 関係・農業関係のコロナウイルスによるなりわいの被害、影響に  
 ついて勉強会を開催しました。  
 収束の見えないコロナ禍の中で多くの事業者・農家に影響が出  
 ている実態と各種支援制度の活用状況等  
 を知ることが出来ました。

別表1 二本松商工会議所 新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口での対応状況 (令和2年8月末日)

相談件数	業 種							
	飲食	卸売	建設	小売	製造	不動産	サービス	その他
1,092	165	13	175	273	154	7	270	35

融資	持続化給付金	家賃支援給付金	県感染防止協力金・給付金	補助金(持続化等)	雇用調整助成金	市補助金等給付金	その他(税金納税猶予等)
34	99	18	22	9	9	34	867



商工会議所 渡辺専務のあいさつ



質問等もさせていただきました

## 農業関係

農業における新型コロナウイルス感  
 染症の影響について、市役所庁舎内  
 においてJAふくしま未来安斎営農部長  
 から説明を受けました。

管内農産物の中で最も取扱額の大き  
 い主食用米での影響については、学校  
 給食を含む外食支出については、六月時  
 点での総務省家計動向調査では、前年  
 比マイナス三十五%と大きく減少して  
 いることに加え、昼食・外食等の業務  
 用需要への販売が多い福島県にとつて  
 は、特に大きな影響を受けており、令  
 和元年産米の六月末における契約・販  
 売進捗は、全国・福島県ともに前年度  
 を下回って推移しているとのこととし  
 た。

次に肉牛(肥育牛)・和牛子牛(繁  
 殖牛)への影響については、いずれも  
 一頭当たりの販売価格が前年と比べて  
 下落しており、和牛子牛セリの平均価  
 格では、本年二月から七月まで前年比  
 八十パーセント台で推移していること  
 が示されました。

また花卉部門では全国的なイベント  
 自粛が大きく影響し、事業年度当初は  
 出荷量の減少と価格安により大減収と  
 なったが、その後価格回復が進み上半  
 期末時点ではほぼ前年並の販売額とな  
 ったことが示されました。

野菜の生産・販売では、主力品目の  
 きゅうり・ミニトマトなど春野菜から  
 夏秋野菜まで台風等の被害も少なく安  
 定した出荷量と販売が続いているとの  
 ことでした。



収穫最盛期の管内水田



JAふくしま未来 安斎営農部長(後姿)